

# 職務体験記

## 【募集職種】保育士

私は自分が生まれ育ったこの自然豊かな幸田町が大好きです。自分の将来と真剣に向き合い、自分は一体どこで何がしたいと考えた時、この大好きな幸田町で、大好きな子どもたちと一緒に、これからまだまだ成長していきたいと思いました。そこから大学で保育を学び、保育士を目指しました。幸田町の保育園実習に行った際、のびのびとした幸田町の保育に改めて感動し、幸田町の保育士に絶対になりたいと思うようになりました。しかし、1回目の採用試験の結果は不合格でした。でも、私は絶対に諦めたくなかったので1年間、幸田町の嘱託保育士（現在では、会計年度任用職員という）として勉強しながら働くことを決めました。

嘱託保育士1年目は、実習でお世話になった園で働けることになりました。とてもうれしかったです。そして、24名の年中クラスを担当させてもらえることになりました。喜びと楽しみな気持ちの中、不安も多く分からないことだらけで、もがくこともたくさんありました。しかし、周りには副担任の先生を始め、信頼できる先生がたくさんいて、先輩たちの環境構成や保育の仕方、声掛けなどを見て自分でも取り入れたいところを真似して自分なりに工夫しながら実践し、学ぶことができました。仕事をする上で、自分自身の心と体が健康であること、保育士同士の連携。報・連・相の大切さなども実感しました。私が自分らしく楽しく保育をできたのは、副担任の先生や周りの先生、子どもたちのおかげでした。

そして、2回目の採用試験の結果は、合格でした。本当にうれしかったです。諦めなくてよかったと心から思いました。

2年目は園を異動し、19名の年長クラスを担当しました。私と子どもたちの「やりたい！」を大切にしながら、サポートして下さる副担任の先生や隣のクラスの先生、周りの先生に守ってもらいながら失敗もたくさんし、子どもたちと一緒に多くを経験し成長できました。本当に毎日が楽しく学びが多かったです。

3年目は、未満児クラスを担当しました。2年目との年齢のギャップに驚き、イヤイヤ期、試し行動に直面し毎日葛藤しながら、子どもの全身での訴えに寄り添う大変さや大切を学びました。悩むことも多かったけれど、私にとってこの1年の経験は保育士として本当に大きな学びとなりました。

4年目は、20名の年少クラスを担当しました。親から離れ、集団の中の一人として、色々なことが初めての子どもたちであり、大人の不安や焦りなどが子どもに大きな影響を与えること、臨機応変に対応することの難しさや大切さを改めて痛感しました。とても大変で濃

く深く楽しい1年でした。

現在5年目は、18名の年中クラスを担当しています。1年目とはまた見る景色が違うのを感じます。昨年度からの持ち上がりで、発達段階についても学んでいます。遊びの大切さも本当に感じます。何年経っても失敗や悩みはあります。しかし、やってみることから失敗も成功もあり、学びがあります。一人では絶対に保育はできません。私には、信頼できる大好きな先生たち、子どもたち、保護者の皆様、家族がいます。たくさんの人たちに助けももらいながら、子どもたちと一緒に楽しいことをたくさん経験して、これからも成長し続けていきたいです。

最後にこれから保育職を目指す皆さまへ。私は幸田町の自然に囲まれながら保育ができることが幸せで、本当に毎日が楽しいです。日々、子どもや保護者の皆様、先生たちとの関わりの中で大きな発見や学びがあります。心からやりがいのある仕事だと思います。自分が決めた保育士になりたいという夢、諦めず頑張ってください。保育をしていく中、生きていく中でも、すぐに結果が出なくても無駄なことは一つもないと思います。なぜなら、無駄の積み重ねが経験だからです。一つ一つの積み重ねに意味があり、これからは絶対につながると思います。コツコツは勝つコツ！です。自分の中でブレない1本の芯を大切にしながら思い切り色々な経験を楽しんでほしいです。一緒に楽しく働ける日を楽しみにしています。この文章を書いている、私自身、自分を振り返ることができました。初心を忘れず頑張ります。